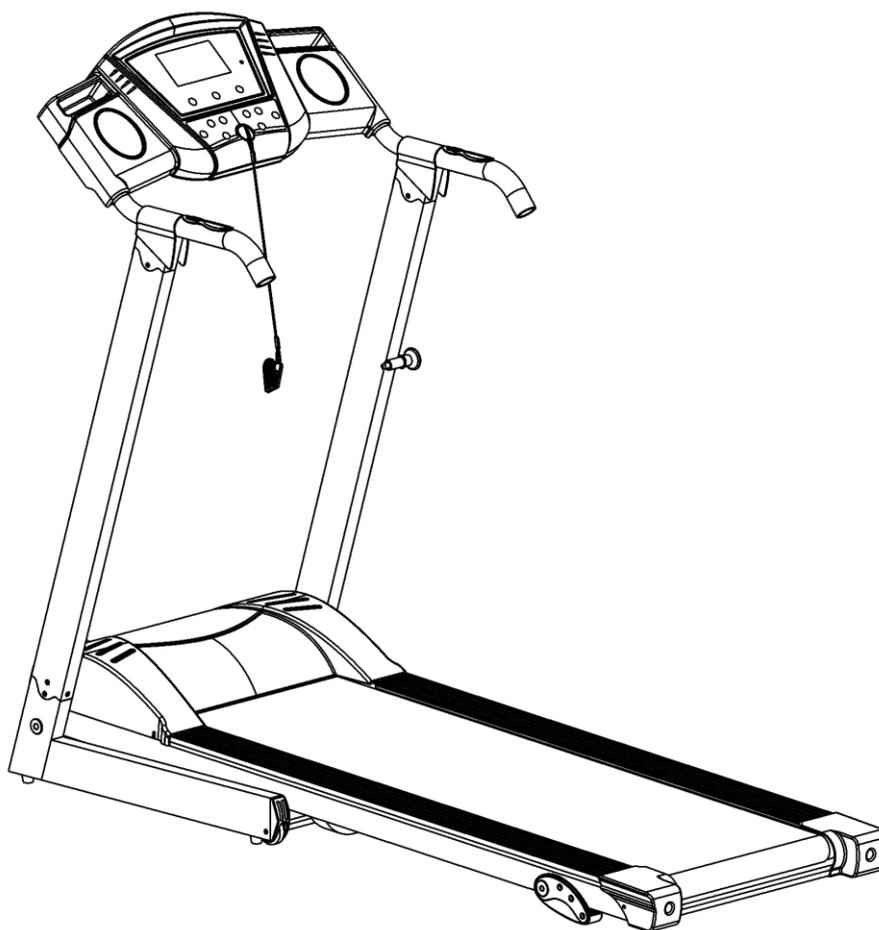




ルームランナー DK-8420E

取扱説明書



この度は【ルームランナー DK-8420E】をお買い上げいただきまして、誠に有難うございます。

- ◎ ご使用前にこの説明書を最後までお読み頂き、内容をよく理解されてから正しくご使用下さい。
- ◎ 本書の巻末に「保証書」がついていますので、送り状の控えとともに手近なところに大切に保管して下さい。
- ◎ ご不明な点がある場合その都度読み直して頂き、正しくご使用下さい。
- ◎ 本機は家庭用です。改良のため、デザイン・仕様を一部変更している場合があります。
- ◎ 計測数値等に関しましては、多少の誤差がございますので御了承ください。

安全上の注意

取扱説明書の注意及び警告内容は、危険の度合いによって2段階に別れております。記載されている内容をよく理解していただき、取扱説明書に従ってご使用ください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告 誤った取扱いをすると人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容



注意 誤った取扱いをすると人が障害を負う可能性及び物的被害の発生が想定される内容



警告

☆使用上の警告

- 1) 無理をせず軽いスピードから始めて下さい。
- 2) 急激な運動は体に負担が掛かりますので、少しでも異常を感じましたら運動を中止して医者にご相談下さい。
- 2) お子様、本機で遊ばないようにして下さい。また、使用中はお子様近づかないようにして下さい。お子様、お年寄りの方が運動される際には、必ず付添の人をつけて行って下さい。
- 3) お年寄り・体の不自由な方、病気をお持ちの方のトレーニング・リハビリ用にご使用の場合、必ずかかりつけの医師にご相談下さい。特に次のような方
(心臓病・高血圧・糖尿病・呼吸器疾患・妊娠中・ペースメーカ・人口心肺装着の方)
- 4) 分解・改造は行わないで下さい。内部点検や修理の際は販売店までお申し付け下さい。
- 5) 各部の機能が正しく作動しているかどうか、またネジ・ボルト等の緩みやガタがないか、使用前に必ず点検して下さい。
- 6) 乗降する場合には、ハンドルにもたれかかったり、使用中に周囲の人が製品及び使用者を押したり、引いたりしないで下さい。運動の妨げとなったり、安全性を損ないケガをしたりする場合があります。
- 7) 同時に2人以上でご使用なさないで下さい。

☆電気器具の警告事項

- ① 使用電源については、次の事項を必ず守って下さい。
 - 電源は定格 15A 以上のコンセントを単独で使用してください。他の器具と共用すると器具の加熱により火災の原因となります。
 - 交流 100V 以外で使用しないでください。火災、感電の原因となります。
- ② 電源コードの取扱いについては、次のことを必ず注意してください。間違った取扱いをされると感電の原因になります。
 - 電源コードやプラグが傷んでいたりする時。
 - コンセントの差し込みが緩い時。
 - 電源コードの上に重いものを載せた時。
 - 電源コードを曲げたり、束ねたりした状態でご使用になった時。
 - 濡れた手でプラグ・電源コード等に触れた時。
 - 長期間ご使用にならない時。
(安全のため必ず電源コードをコンセントから抜いてください。)
 - 中継線(延長コード)を御使用の時。
(延長コードで中継することにより低電圧状況を引き起こし誤作動の原因となりますので、コンセントに直接電源コードを接続して下さい。)
 - 電源コードの先にはアース線が付いております、万一の漏電事故を防ぐため、接続してください。
- ③ モーター保護のため60分以上の連続使用はおやめ下さい。
- ④ 万一、異常な音、におい、煙が出たときには、電源を切り、電源コードを抜いて販売店もしくは当社までご連絡下さい。(最終ページの保証書欄をご参考にご連絡下さい。)



注意

☆ 使用上の注意事項

- 1) トレーニングの前後に必ずストレッチ（準備体操）を入念に行ってください。
トレーニングをするたびに、筋肉はほんの少し傷みます。そのままにしておくと筋肉が縮み、その状態で数年間スポーツを行うと、筋肉が堅い弦の様に簡単に切れやすくなります。ストレッチは、必ずトレーニング前後に行うように習慣をつけましょう。
- 2) 食後のトレーニングはやめましょう。胃に流れる血液が、体を使うことによって胃に流れにくくなって消化に影響を与えるので、食後2時間位あけてトレーニングをして下さい。
- 3) 本機ご使用の際は、必ず運動靴を履き、回転、駆動部に巻き込まれる恐れのない紐等のない服装でご使用下さい。
- 4) 運動方法につきましては、使用方法以外での使用はおやめ下さい
- 5) 本機は一般家庭用のトレーニング機として作られていますので、一般家庭以外でのご使用はおやめ下さい。
- 6) 異物を商品内部に入れないでください。異物が入ったまま使用すると、故障の原因となります。特にお子様のおられるご家庭では注意して下さい。
- 7) 体重が100Kg以上の方はご使用なさらないようにして下さい。
- 8) サビの発生や負荷の調節不調、メーター等の故障の原因となりますので次の場所には設置、保管はしないで下さい。
 - ・直射日光、暖房設備、火気のために著しく温度が上昇する場所
 - ・屋外の設備や浴室付近等の湿気の多い場所
 - ・磁気や電氣的雑音の発生しやすいものの近く
- 9) 使用しない場合には、電源コードを抜く等作動しない状況にして頂き、特に幼児が触らない様注意して下さい。

☆ 保管上の注意事項

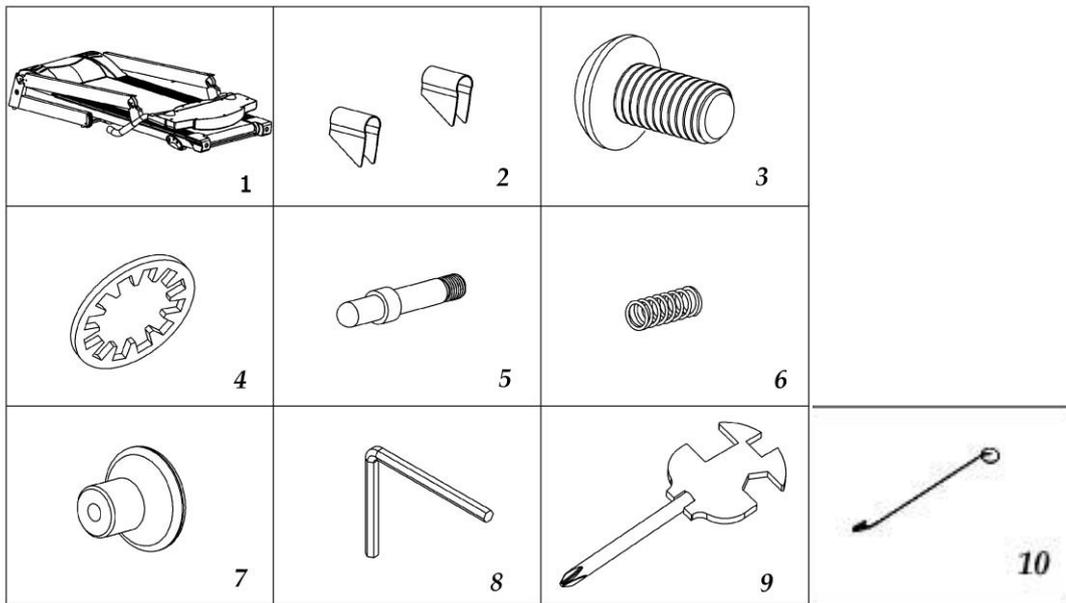
- ご使用前にはハンドル・手すり・接合部分のガタや、緩み等がないよう確認して下さい。
- 本機は使用中の運動が十分確保できる水平な床面に設置して下さい。
- 歩行面（ベルト）には、絶対に物を置かないで下さい。
- 本体カバー部は樹脂製です。カバー部・ハンドルには絶対に寄りかかったり、乗らないで下さい。
- ベルトに局部的に亀裂が発生すると進展し、使用中に破損等して危険のため必ず確認してからご使用ください。ベルトは消耗品のため、ご購入より3ヶ月以上経過したものについては有償となります。
- ベルトが偏ったときはベルトの調節方法を見て調節を行ってください。
- 使用場所の周囲に物を置くと、思いがけないケガや事故につながりますので、必ず整理整頓してからご使用下さい。
- 本機は必ず平らな場所に設置して下さい。
- 廊下やフローリングまたは畳の部屋で組立てやご使用になると、床を傷つける場合があります。必ず、布やカーペットを敷いて傷を付けないようにして下さい。
- 本機を廃棄する場合は、粗大ごみとして各自治体の方法に従って処理してください。

仕様

品名	／ ルームランナー	傾斜角度調整	／ 手動式
品番	／ DK-8420E	電源	／ AC100V 50~60HZ
材質構造	／ スチールパイプ・合板ボード・ウレタン	消費電力	／ 1000W
メーター	／ ABS樹脂	コードの長さ	／ 2.4m
表示方式	／ 液晶パネル	ベルト支持構造	／ 摩擦式
使用用途	／ 電動式（歩行・走行用）	ベルト幅長さ	／ W42×L125cm
スピード	／ 1.0~16km/h	ローラー	／ 2本
脈拍検知方式	／ グリップ式	モーター	／ 2.25馬力
重量	／ 56kg	生産国	／ 中国
寸法	／ W73×L160×H138cm		



パーツ図表：



番号	名称	規格	数量	番号	名称	規格	数量
1	本体		1	6	ロックノブボルトバネ		1
2	左右支柱飾りカバー		2	7	ロックノブボルト取手		1
3	支柱・パネル固定用ボルト	M8*16	12	8	六角レンチ	5mm	1
4	ワッシャ	M8	12	9	ドライバー・スパナ	S=13、14、15	1
5	ロックノブボルトシャフト		1	10	セーフティキー		1

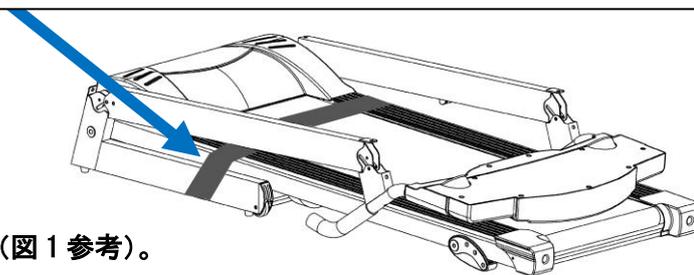
組立説明

組立を始める前のご注意

- ※ 組み立てる前に、絶対電源コードを接続しないでください。
- ※ 広い場所を確保した上で作業を始めて下さい。
- ※ 作業をする前には、部品と必要な道具が全部揃っているかを確認して下さい。
- ※ 開梱及び組み立て時は、必ず2人以上で行って下さい。
- ※ 本機を箱から出したら、必ず走行面を上にし、本体が床面と水平になるよう設置した上で組立を行ってください。横倒しでバンドをはずしますと本体と脚部フレームが勢いよく開きますので、ご注意ください。
- ※ 本体についているバンドは組立が完了してから、はずしてください。
- ※ 組立時、ボルトは仮締めにして、全体が組み上がってから、スパナ（レンチ）で、強めにネジをしめてください。

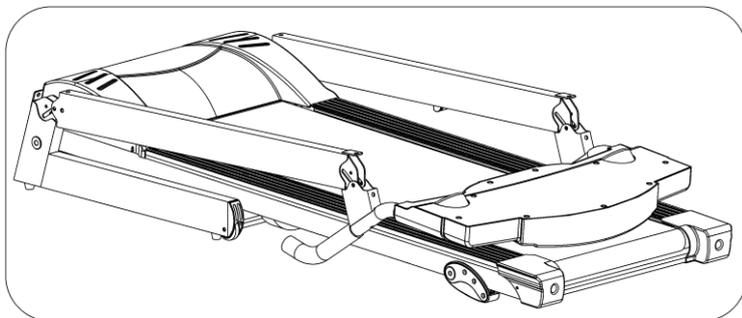
【注 意】

このバンドは設置場所が確定し、組立が完了してからはずしてください。
(先にはずしてしまうと、土台部分が跳ね上がり大変危険です)



組立方法

- 1、まず、本体を箱から出してください。(図1参考)。



(図1)

- 2、左右支柱とパネルを起こします。

支柱を矢印方向へ起こしてください。起こす時際に、接続コードに傷を付けないようにご注意ください。

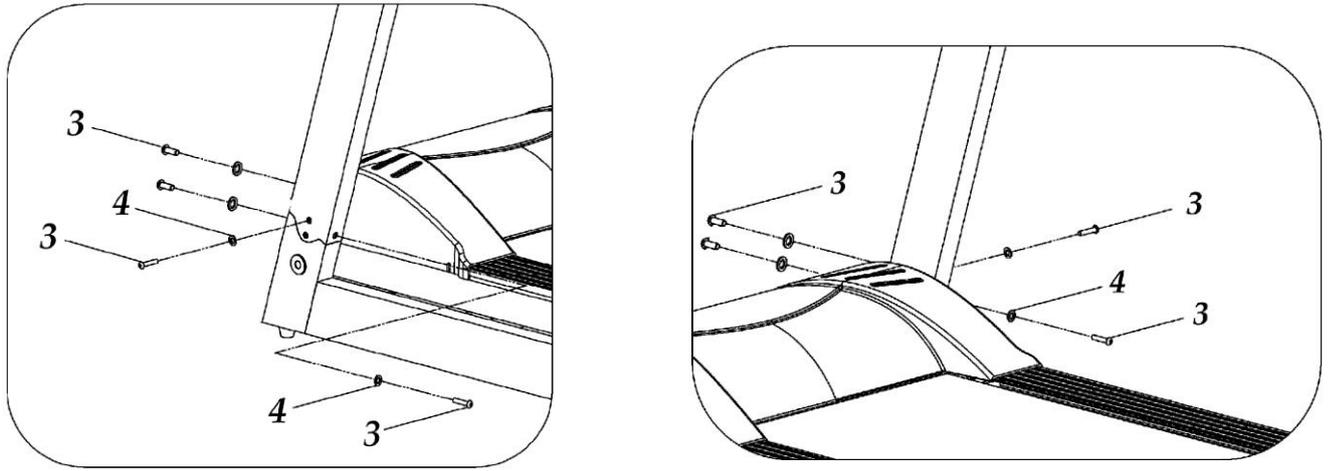
(図2参考)



(図2)

3、左右支柱を固定します。

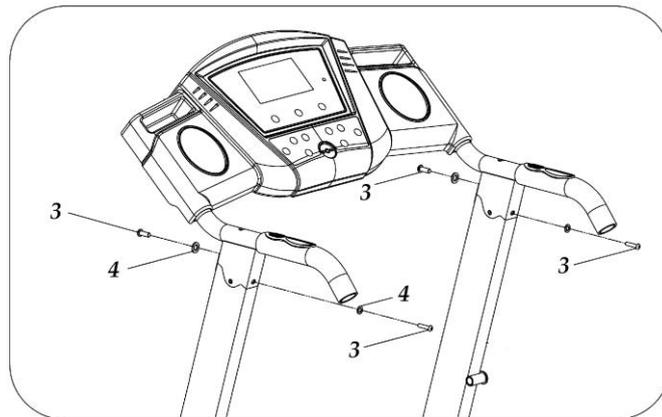
3番M8×16 ルボルトと4番M8 ワッシャで左右支柱の下方を固定してください。(図3参考)



(図3)

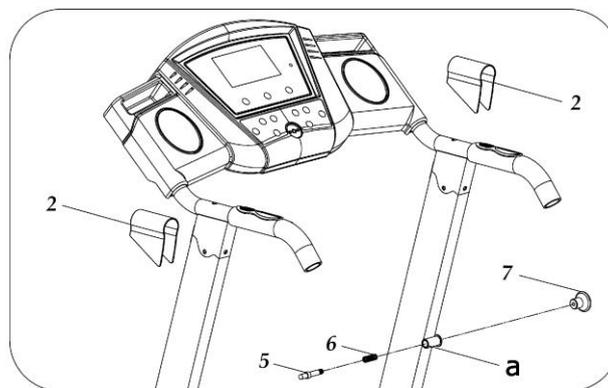
4、パネルを固定します。

3番M8×16 ルボルトと4番M8 ワッシャでパネルを固定してください。(図4参考)



(図4)

5、5番、6番、7番ロック装置をaに取付けてください。最後に2番左右支柱飾りカバーをハンドルに取付けてください(図5参考)



(図5)

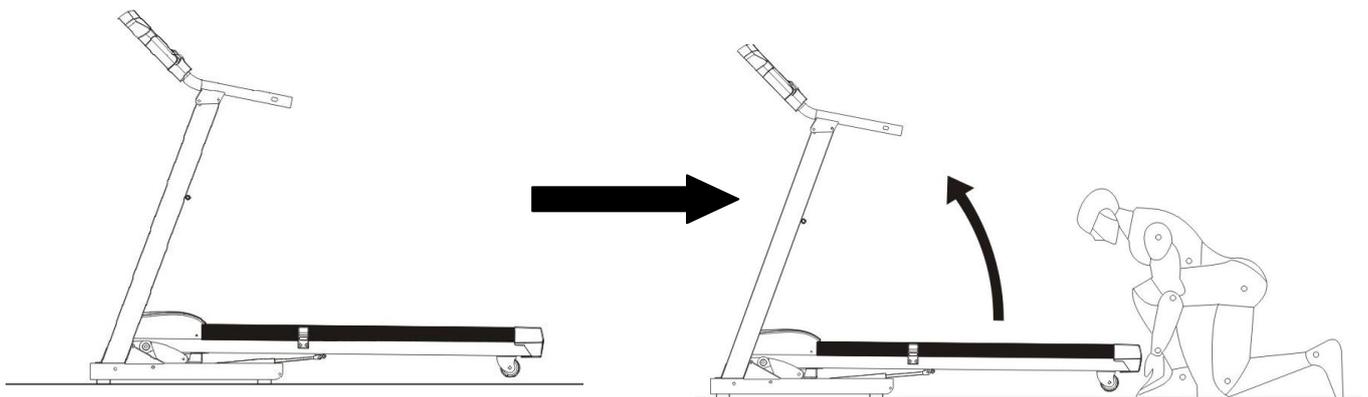
6、最後に本体についているバンドをはずしてください。

折りたたみ方法と折りたたみ解除方法

- ・本機の折りたたみとその解除を行う際、必ず床面が平坦である・障害物に乗り上げていないことを確認して下さい。本機の水平が保たれていない場合、突然倒れ破損や、怪我を負う恐れがあります。

折りたたみ方法

- 1 本体が平らな状態であることを確認してください。(図1参考)
- 2 電源コードをコンセントから抜き、両手で本体の後方を支柱側へ持ち上げて下さい。(図1参考)
- 3 右側ロック装置を引きながら走行部分を押し上げロック部の穴にロックさせ、ロックが確実にされていることを確認してください。(図2参考)



(図1)

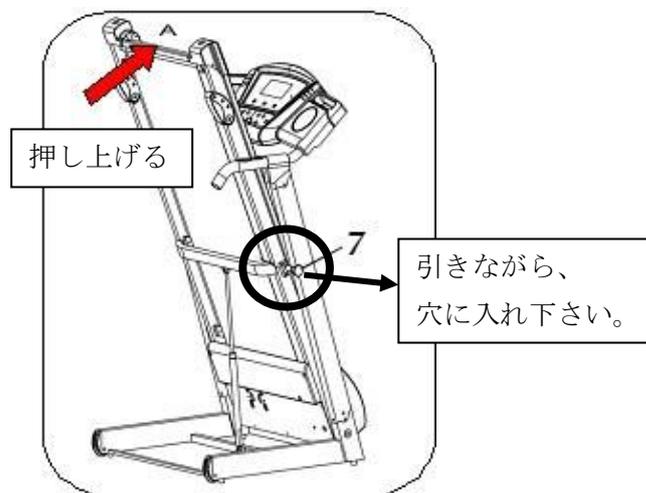


図2

折りたたみ解除方法

- 1 本体が平らな状態であることを確認してください。
- 2 左手で本体を押さえて、右手でロック部を解除して下さい。
- 3 両手で本体を支えながら、下までゆっくりと降ろして下さい。
(図参考)



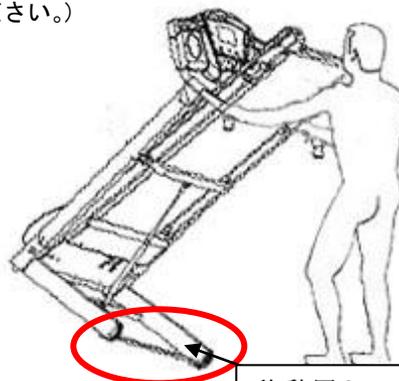
移動方法

本機の移動を行う際、必ず床面が平坦であり・障害物が周りにないことを確認してから行ってください。本機は重量がありますので、床面に傷がつくことがありますので、移動の際には敷物等をご用意下さい。（* 体力等に自信のない方は危険ですので、2人以上で行うことをお勧めします。）

1. 折りたたみ状態にし、ハンドル部を握ります。
2. 移動用キャスターを軸に、前部を浮かせます。
（* 握っているハンドルから手を離さないように、気を付けてください。）



移動用キャスターを軸に前部を浮かします。



移動用キャスター

移動用キャスターを軸に、前後に移動することが可能です。
（* 移動用キャスターを軸に移動しない場合、本機下のクッションを破損してしまいますので、やめてください。）

起動方法

- 1 本機を折りたたんでいる状態であるなら、安全を確保し折りたたみを解除し、運動できる状態にして下さい。
- 2 電源コードをコンセントに奥までしっかりと差込んで下さい
- 3 電源コードを延長コード等、中継させるものを間に入れずに直接コンセントに差込んで下さい。
- 4 電源スイッチを入れて下さい。
- 5 ベルト脇の左右足踏みプレート中央部に乗り、メーター中央下部にある凹部に重なるようにセーフティキーを置いて下さい。
- 6 セーフティキーより伸びている紐の先端にあるクリップを衣服に付け、紐がたるみ過ぎない様結ぶなどして調節して下さい。（スピードについていけない時など紐のたるみがなくなり、セーフティキーが外れる事により、ベルトが自動的に止まり、全ての動作が停止します。）セーフティキーが外れると警告が鳴ります。
- 7 運動目的に合わせコンピューターの操作方法を参考に設定し、運動を始めて下さい。



電源コード 電源スイッチ ブレーカー

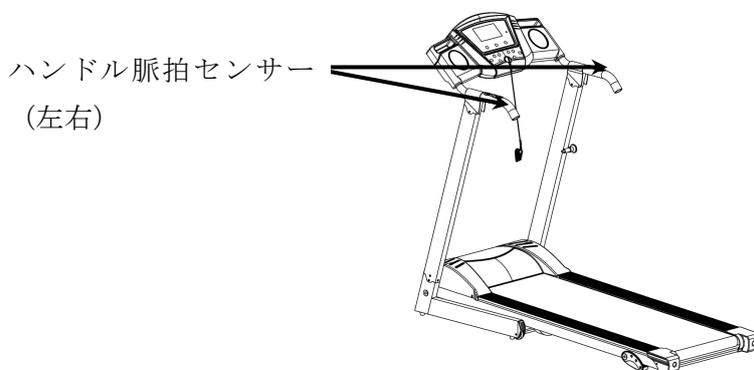
※ブレーカーボタンは商品保護の為のものです。過剰な電流が発生時、ブレーカーボタンが自動的に電源を切ります。この場合一度電源スイッチを切り、再び入れ直して下さい。次に、ブレーカーボタンを押して下さい。

心拍数表示機能

運動中、左右ハンドルにあるハンドル脈拍センサーを両手で握ることにより表示画面に心拍数が表示されます。(下図)

握っても表示されない場合は、手をこすり合わせてから再度握って下さい。

(*計測数値に関しましては実際の数値とは誤差がございますので、参考程度にご使用下さい。)



角度調整機能

本機を使っていただく方に、いろいろな運動効果を高めるために、3段階で角度を調整できるようにしています。本体後部の左右角度調整装置のピンを3つの穴に差し変えれば、角度が変わります。(下図参考)。



終了方法

- 1 目標運動もしくは運動を終了する場合、まず安全に左右足踏みプレートに乗って下さい。
- 2 ストップボタンを押して、ベルトを停止させて下さい。
- 3 安全に本機より降り、電源スイッチを切って、コンセントから電源コードを抜いて下さい。

<使用時間を守ってください！>

本製品を末長くご使用していただくために、モーター保護等の観点から下記に示す使用時間を必ず守ってください。

1. 連続使用時間は**60分**までです。
2. つぎに使用するときには、先に使った時間の**2倍以上**の時間をおいてからご使用ください。
(例：30分間使用⇒60分以上機械を休ませる。(スイッチ等も切る)⇒新たに使用開始)
3. 一日の総使用時間の限度は**3時間**までとします。

* シリコンスプレーを定期的にも使用することも忘れずに！(P14、15 参照)

メーターの使用方法



セーフティキー

(パネルに置かないと作動することができません)

● ボタンの説明

セーフティキー	本機は安全のため運動中についていけない場合や足をとられた場合にベルトが自動的に止まるように設定されています。
スタート	運動開始とプログラムの作動を行います。
ストップ	運動の停止を行います。
△ (速度アップ)	ベルトの速度をアップします。選択した目標数値を入力する。
▽ (速度ダウン)	ベルトの速度をダウンします。選択した目標数値を入力する。
モード	時間・距離・カロリーの設定
プログラム	プログラムの選択 (P1-P9-FAT)
ウォーキング	速度ワンタッチボタン (5 キロ)
ジョギング	速度ワンタッチボタン (8 キロ)
ランニング	速度ワンタッチボタン (12 キロ)

● 表示の説明

(以下の表示は、液晶の中に表示されます) :

TIME (時間)	0~99 : 59 分まで表示します。
DIS (距離)	0~99.9 kmまで表示します。

SPEED (スピード)	速度 (1.0~16km/Hまで) とプログラム (P1~P12-FAT) を表示します。	
CAL (カロリー)	0~999Kcal を表示します。	} ハンドル脈拍を握ると、表示が切り替えます。
PUL (心拍数)	心拍数を表示します。	

各運動プログラム入力方法



(*スタートボタンを押す前に、必ず足踏みプレートに足を乗せ

てからスタートボタンを押してください。故障の原因になりますので必ず守ってください。)

● クイックスタート

目標を設定せずに運動して頂くものです。ご購入直後本機に慣れていない時期には本プログラムの御使用をお勧めします。

1. スタートボタンを押すと、走行ベルトが動き始めます。時間などデータのカウンタアップが開始します。アップボタンを押すとスピードは1.0km/h~16km/hまで上げる事が可能です。
2. 速度調整アップボタンとダウンボタンでスピードを上げ下げすることが出来ます。
3. 本機を停止する場合はストップボタンを押して下さい。

● プログラムの設定

本機にはモード (時間・距離・カロリー) 設定とP1~P12プログラムを選択することが出来ます。

○ 目標時間設定プログラム

このプログラムは目標の時間とするものを設定し、運動頂くものです。

*設定によっては、最大使用時間 (60分) を超えてしまうことがあります。最大使用時間を厳守してください。

1. モードボタンを押して時間 (15:00) を点滅させて下さい。
2. 「速度アップ+」「速度ダウン-」ボタンを押して数値を増減させ、目標時間を入力してからスタートして下さい。
3. 目標時間設定は5:00 (5分) ~99:00分までとなっています。

※ 尚、設定時間は1分単位での設定となり秒単位では設定出来ません。

○ 目標距離設定プログラム

- 1 モードボタンを押して距離（1.0）を点減させて下さい。
 - 2 「速度アップ+」「速度ダウン-」ボタンを押して数値を増減させ、目標距離を入力してください。
 - 3 スタートボタンを押すとベルトが動き出します。
 - 4 目標距離設定は0.5km～99.9kmまでとなっています。
- ※ 尚、目標距離は0.1km（100m）単位での設定となります。

○ 目標カロリー設定プログラム

- 1 モードボタンを押して距離（50.0）を点減させて下さい。
- 2 「速度アップ+」「速度ダウン-」ボタンを押して数値を増減させ、目標カロリー値を入力してください。
- 3 スタートボタンを押すとベルトが動き出します。
- 4 目標カロリー設定は10～999までとなっています。

自動変化プログラム入力方法

○ P1～P12プログラム

*設定によっては、最大使用時間（60分）を超えてしまうことがあります。最大使用時間を厳守してください。

設定方法

本機には12の自動変化プログラムがあります。プログラム設定ボタンを押して、P1～P12プログラムを選択することができます。

- 1 プログラム設定ボタンを押すと、スピードの窓口に“P1～P12”が表示されます、同時に時間の窓口には10:00を表示されます。
- 2 「アップ+」「ダウン-」ボタンを押して時間数値を増減させ、目標時間を入力して下さい。
- 3 スタートボタンを押すとベルトが動き出します。

P1～P9各プログラムには、設定された時間に応じて、プログラム内容が10段階均等に分かれて作動をします。各段階が終ると「ピッピッピッ」という音で知らせします。時間の経過ごとにスピードが自動的に変化します。（スピード変化状況は下図の通りとなっています。）

時間・段階 プログラム		設定時間/10=各段階の運行時間									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
P1	SPEED	2	4	3	4	3	5	4	2	5	3
P2	SPEED	2	5	4	6	4	6	4	2	4	2
P3	SPEED	2	5	4	5	4	5	4	2	3	2
P4	SPEED	3	6	7	5	8	5	9	6	4	3
P5	SPEED	3	6	7	5	8	6	7	6	4	3
P6	SPEED	2	8	6	4	5	9	7	5	4	3
P7	SPEED	2	6	7	4	4	7	4	2	4	2
P8	SPEED	2	4	6	8	7	8	6	2	3	2
P9	SPEED	2	4	5	5	6	5	6	3	3	2
P10	SPEED	2	3	5	3	3	5	3	6	3	3
P11	SPEED	2	6	7	4	4	7	4	2	4	2
P12	SPEED	2	5	5	4	4	6	4	2	3	4

- * P1～P12 プログラム使用中でも急なスピード自動変化がございますので、使用中にご注意ください。
- ※ プログラム使用中には、スピードの自動変化がありますので、ご使用中に転倒などがないようにくれぐれご注意ください。

● 簡易体脂肪計について

本機のコンピューターには、簡易体脂肪計機能が付いております。

設定方法

プログラムボタンを押し、パネルにF A Tの表示が点灯されます。モードボタンを押してF-1 性別（男-1・女-2 を選択）→F-2 年齢→F-3 身長→F-4 体重（F-1～F-4 まで任意の数値を入力していきます。）→F-5 体脂肪測定

任意の数値を「+」アップボタンと「-」ダウンボタンで選択し、モードボタンを押し決定させます。最後F-4 まで入力をし、モードボタンを押しF-5 が表示されたら、両手でしっかりと左右ハンドルの脈拍センサーを握ってください。2、3 秒間後に自分の体脂肪値が表示されます

- * この機能は、あくまでも簡易体脂肪計ですので、目安として参考程度でご利用してください。

保守・運用について

走行ベルトの調整

本機は走行ベルトを前後のローラーで引き、張りを持たせることで作動をさせています。

現在ご使用になっている状態で不具合がない場合には、現状で使用をお続けになってください。

もし、下記のような症状があった場合に、走行ベルトの調整を行うようお願いいたします。

*注意：走行ベルト調整をする場合、3～5km/hの速度で調整をして下さい。その際、六角レンチで調整ネジを回しすぎると、急激にベルトが偏りベルトを破損するおそれがありますので、慎重に調整を行ってください。

＜使用中、足を踏み込むと止まってしまう／空滑りをしてしまう＞

- 1 右調整ネジに六角レンチを差込右回しで90度回して下さい。
- 2 左調整ネジに六角レンチを差込右回しで90度回して下さい。
- 3 左右の調整後、一旦、ベルトを止め、自身で走行してみて止まり/すべりがいいかを確認して下さい。
- 4 まだ、止まり/すべりがある場合には上記1～3までの手順を繰り返し調節して下さい。

＜ベルトが持ち上がらない（縦に指2本程度入らない）場合＞

- 1 右調整ネジに六角レンチを差込左回しで90度回して下さい。
- 2 左調整ネジに六角レンチを差込左回しで90度回して下さい。
- 3 ベルト中ほどの左右どちらか片方の端をつまみ上げ、指2本程度はいるぐらい持ち上がる状態に調節できたか確認して下さい。
- 4 まだベルトが持ち上がらない場合は上記1～3までの手順を繰り返し調節して下さい。

＜ベルトが右側の足踏みプレートにぶつかっている場合＞

- 1 本機を起動させクイックプログラムでスタートをし、スピードを3～5km/hまで上げて下さい。
- 2 右調整ネジに六角レンチを差込、ベルトの寄りに応じて右回しに回して下さい。

(調整ネジを回しすぎますとベルトが急激に反対方向によりますので、調整ネジは少しずつ回してください。)

- 3 ベルトが徐々に左に寄ってきていることを確認して下さい。
- 4 まだベルトが右によっている場合は、1～3までの手順を繰り返し調節して下さい。

＜ベルトが左側の足踏みプレートにぶつかっている場合＞

- 1 本機を起動させクイックプログラムでスタートをし、スピードを3～5km/hまで上げて下さい。
- 2 左調整ネジに六角レンチを差込ベルトの寄りに応じて右回しに回して下さい。

(調整ネジを回しすぎますとベルトが急激に反対方向によりますので、調整ネジは少しずつ回してください。)

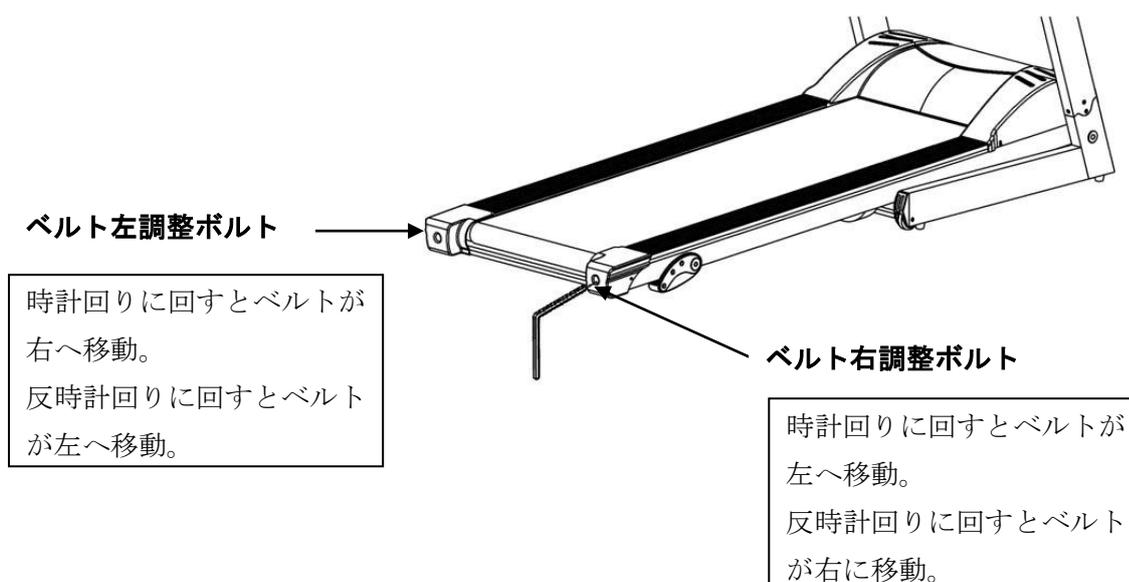
- 3 ベルトが徐々に右に寄ってきていることを確認して下さい。
- 4 まだベルトが左によっている場合は、1～3までの手順を繰り返し調節して下さい。

＜ベルト調整の注意点＞

左右の足踏みプレートにベルトが触れずに、回転をしていれば調整は完了です。

ベルトをプレートに擦ってキズをつけないように注意して行ってください。

(イメージ図)



潤滑剤（シリコンスプレー）の補充

本製品のウォーキングボード（以下：ボード）には工場出荷時に潤滑剤が塗布されていますが、ご購入後の時間経過やご使用頻度に伴いベルトの裏側やボード上に埃が溜まる等の原因で摩擦が増大し、ベルトの消耗が激しくなる・モーターの寿命が短くなるなどの現象がおき、本来の性能を維持できなくなりますので定期的に清掃と潤滑剤の噴霧が必要となります。

潤滑剤使用の目安

ご購入後の初期段階の噴霧目安

- ・ ご使用時間約100時間もしくは、ご購入後約3ヶ月の経過に伴い工場出荷時の潤滑剤の効果が徐々に無くなってきますので、市販のシリコンスプレーをホームセンター等でご購入頂き噴霧して下さい。

<上記以後の噴霧の目安>

- ・ 2週間以上ご使用のない場合は、運動前に走行面等のホコリを取り除いてから、必ず噴霧して下さい。
- ・ 最低でも1ヶ月に1度以上は噴霧することを心がけてください。

潤滑剤の使用方法

ベルトの中ほどの左右どちらか片側の端をつまみ上げボード全体に噴霧して下さい。

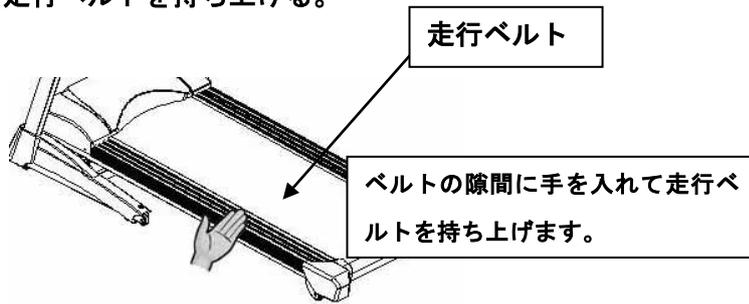
※ 注意 潤滑剤を多量に噴霧するとベルトの作動にかえて悪影響（ベルトが滑る）を与えます。

※ 注意 CRC556等機械油を潤滑油代わりに使用しますとかえて滑りを悪くします。

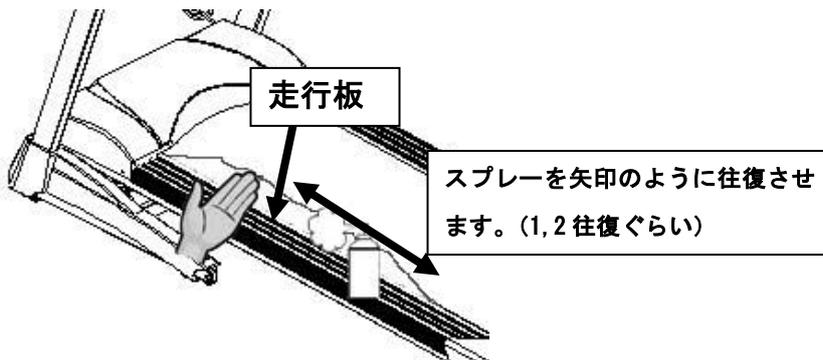
シリコンスプレーの噴霧の方法

シリコンスプレーを噴霧するときは、走行ベルトを停止させた状態で行ってください。

1. 走行ベルトを持ち上げる。



2. 持ち上げた状態で、スプレーを走行板に噴霧します。



3. 反対側からも同じように行います。

*シリコンスプレーに付属している細いノズルをつけて噴霧すると、より効果的です。

<シリコンスプレーを噴霧するときの注意点>

- ・シリコンスプレーのつけすぎには注意してください。
(つけすぎの場合、ベルトが空回りしてしまいます。)
- ・前後のローラーにかからないようにして下さい。
- ・走行ベルト表面には絶対にシリコンスプレーをかけないでください。
- ・シリコンスプレーを噴霧するときには、本体、溝等に溜まっているホコリを取り除いてから、噴霧するようにして下さい。

シリコンスプレーはお近くのホームセンター等でご購入してください。

<トラブルがおきたら>

下記のようなエラーコードや症状が起こった場合は、故障と判断される前に下記の点をお調べください。

エラーコード	意味	内容(対策)
E01	接続不具合エラー	各接続コネクタに不具合(接続不良・断線等)がある。モーターと基盤の故障も考えられます。
E03	速度センサーエラー	速度センサーが速度のパルスを検知していない。速度センサーに埃が付いている。センサーが破損或は角度のずれ。トルクの微調整が必要。
E05	電気と運行システム故障	過電流発生或はモーター故障など考えられます。

症状	原因	処置
動かない (パネルが表示しない)	電源プラグが差し込まれていない 電源スイッチをオンにしていない セーフティキーが外れている 接続コネクタが外れている	プラグをコンセントに差し込んでください。 電源スイッチをオンにしてください。 セーフティキーをパネルに差し込んでください。 コネクタの接続を確認してください。
歩行ベルトがあたっている。	歩行ベルト調整をしていない。	歩行ベルト調整をしてください。
急に止まった	セーフティキーが外れている ブレーカーボタンがとびだしている ベルトがたるんで空回りしている ベルトの摩擦が多い 静電気の可能性が考えられます (乾燥した場所等)	セーフティキーをパネルに差し込んでください。 本書7ページを参照し、ブレーカーボタンを押してください ベルトを張りなおしてください。 シリコンスプレーを塗ってください。 静電気防止スプレー等をベルトの裏側につけたり、脈拍センサーを握らないで運動を行う(握る場合には手袋等をしてください)。
歩行中空滑りしたり、止まったような気がする	歩行ベルトがたるんでいる モーターベルトがたるんでいる シリコンスプレーの塗りすぎ	歩行ベルトを調整してください。 モーターベルトを調整してください。 ペーパータオル等で拭いてください。
モーターが熱くなる	長時間使用した 寒さでベルトが縮んだ ベルトの摩擦が多い	30分以上操作しないでください。 ベルトをゆるめてください。 シリコンスプレーを塗ってください。
本体下に粉が落ちる	歩行・モーターベルトがなじんできている 靴底のラバーがこすれている	本体の下を定期的に清掃する。
音がする	ガタツキ・キシミ音がする ローラーから音がする ベルトが擦っている	設置位置を確認し、ネジを締めなおしてください。 ローラー軸部分にグリース等の機械油を吹き付けてください。 ベルトがどこかにあたっているかを確認後、歩行ベルトを調整してください。
コンセントを差し込むと火花が出る	スイッチが入っている	スイッチを切って差し込んでください。

保証書

本保証書は下記の保証期間ならびに保証条件にしたがって、無償修理することをお約束するものです。この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

品名	DK-8420E 家庭用 ルームランナー
保証期間	お買い上より1年間
お買上げ日	年 月 日
お名前	
ご住所	
T E L	— —

販売店：

- (1) 取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合は、無料保証いたします。
- (2) 保証期間内に故障した場合は、お買上げの販売店にご依頼ください。その際には本書をご提示ください。
- (3) 保証期間内でも次の場合には保証は受けられません。
 - お買上げ後の移動（引越等も含む）、落下、転倒等の故障及び損傷
 - 本来の使用目的以外による故障及び損傷
 - 天災、地震、水害、落雷、地変等による故障及び損傷
 - 保管上の不備による故障及び損傷
 - 不当な修理、改造による故障及び損傷
 - 取付場所の床面の損傷
 - 本保証書の添付のないもの
- (4) 使用に伴う消耗品は、無償修理交換の対象になりません。
- (5) 一般家庭以外に使用された場合は、無償修理交換の対象になりません。
- (6) 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- (7) 保証期間が過ぎた後の故障については有償にて修理交換します。
- (8) 本保証書は日本国内のみ有効です。
- (9) 本保証書は、お買上げ年月日、販売店名、販売店印が記載されていないと無効です。
ただし、商品をお届けした際の配送伝票がある場合はその限りではありません。
- (10) 出張修理に関しては、保証期間内でも有償になる場合があります。

フリーダイヤル： 0120-25-1622

輸入販売元 大広 株式会社

(<http://www.daikou-dk.com/>)

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町 2-20-6 2F

TEL：03-5652-5056 FAX：03-5652-5078

受付時間 (平日AM10:00~PM5:00) 土・日・祝日休み